

6. 北海道美瑛町

1. 地域概要

対象地域	北海道美瑛町エリア			
申請主体	美瑛町			
計画名	定山溪エリアにおけるオーバーツーリズム解消の「実証モデル」実施計画			
観光客データ		平成31年	令和5年	令和6年
	入込観光客数(千人)	2,419	1,062	2,387
	- 国内(千人)	2,392	1,062	2,363
	- 訪日外国人旅行者(千人)	26	0.1	24
地域の特徴・観光資源等	<ul style="list-style-type: none"> 美瑛町は、北海道のほぼ中央に位置し、小麦、馬鈴薯、豆類などの畑作を中心とした農業を基幹産業としている。平成初期から農業景観を訪れる観光客の増加に伴い、観光業が発展している。 波状丘陵地帯の農村景観をはじめ、白金青い池、セブンスターの木、クリスマスツリーの木など各観光スポットを巡る観光客が大勢訪れている。 			
協議体制	協議の場			
	美瑛町オーバーツーリズム対策協議会			
	参加者			
	行政機関等	有識者等		
<ul style="list-style-type: none"> 美瑛町商工観光交流課 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道大学大学院 			
事業者	住民関係者			
<ul style="list-style-type: none"> 美瑛町観光協会 びえい白金温泉観光組合 美瑛町商工会 	<ul style="list-style-type: none"> 美瑛町写真映像協会 ブラウマンの空庭。(畑看板プロジェクト) 農業者 美瑛町農業協同組合 			

エリアマップ



美瑛町の農業景観
小麦、馬鈴薯等の輪作体系で畑がパッチワークのような色彩となっている。



白金青い池
美瑛川にアルミニウム成分等を含む河川が混ざり、光の反射で青く見える。



白ひげの滝
美瑛川にアルミニウム成分等を含む河川が混ざり、光の反射で青く見える。





ケンとメリーの木
農村景観に映える車のCMで有名になったポプラの木



十勝岳連峰と丘の風景
晩秋のカラマツ林と農村景観

2. 課題

主な現状・問題点

影響を受けている主な対象

1. 道路等の混雑

- ・ 白金青い池駐車場は、特に夏の観光シーズンに大型バスや乗用車による駐車場出入口での渋滞が発生し、その影響が周辺道路にまで波及し、白金地区への定期バス、救急自動車などが渋滞に巻き込まれ、地区住民の生活及び観光に支障をきたしている。
- ・ 美瑛町は、観光スポットが町内に点在し、その観光スポットを周遊する観光が主流となっていることから、各観光スポットごとに観光客や観光車両による道路や駐車場の渋滞が発生し、地区住民の生活に支障をきたしている。

地域住民・観光客

2. マナー問題

- ・ 観光スポットのうち、セブンスターの木、ケンとメリーの木、新栄の丘展望公園などは、農地に隣接していることから、観光客の農地への立ち入りが絶えず、農業経営に支障をきたしている。
- ・ 観光客が道路中央で座り、決まったポーズで写真撮影を行うことで、交通安全面や道路の通行に支障をきたしている。

地域住民・観光客

1 道路等の混雑



クリスマスツリーの木
狭い道路に観光車両が集中し地域住民の通行が妨げられる。



青い池駐車場・道路の渋滞
青い池の駐車場入口の混雑によりピーク時には道路が約3キロ渋滞し、定期バスや救急車両等の運行や地域住民の生活に影響を及ぼしている。



千代田公園駐車場の混雑
千代田公園のトイレ待ちなどによりバス駐車場が満車となり、バスが近隣道路に駐車し、住民生活に影響が出ている。

2 マナー問題



観光地における農地立ち入り
農地に面した観光地において、観光客が無断で農地に侵入し、写真撮影を行うなど地域農業者の営農に支障が出ている。



道路中央での写真撮影
観光客が道路中央で座り、決まったポーズで写真撮影を行うことで、交通安全面や道路の通行に支障をきたしている。

3. 背景・要因

主な背景・要因

1. **観光エリアと生活エリアの重複**
 - ・ 観光地化しているクリスマスツリーの木・セブンスターの木や周辺の農地は私有地であるものの、それを知らない観光客が無断で立ち入ってしまう
 - ・ 観光地周辺の道路に観光客や観光バス、車両があふれ、車両のすれ違いが難しい程狭く、車両滞留が起きやすい
2. **貸切バスやレンタカー移動が主流の観光地**
 - ・ 主要な観光地間の距離が遠い一方で、公共交通機関が発達していないため、貸切バスやレンタカーでの来訪者が多い
 - ・ そのため、一定の観光地に観光客が集中することにより、観光地の駐車場やトイレが混雑し、駐車場に入りきらないバスやレンタカーによる路上駐車が増加
3. **SNS等を背景とした観光客急増**
 - ・ 美瑛町は美しい自然景観が写真家やSNSで取り上げられることにより近年国内外からの観光客数が急増
 - ・ そのため、特に訪日外国人旅行者はツアー型の大型貸切バスでの来訪が多く、特定の場所・時間に大勢の観光客が集中しやすい

1. 観光エリアと生活エリアの重複



クリスマスツリーの木
地域住民が使う狭い生活道路に
大量の観光客が集まり交通に支障

2. 貸切バスやレンタカー移動が主流の観光地



観光バスが駐車場に入りきらず
路上駐車し、地域住民の生活に支障



出典：地理院タイルに観光地名と図形を追記して掲載

3. SNS等による観光客急増



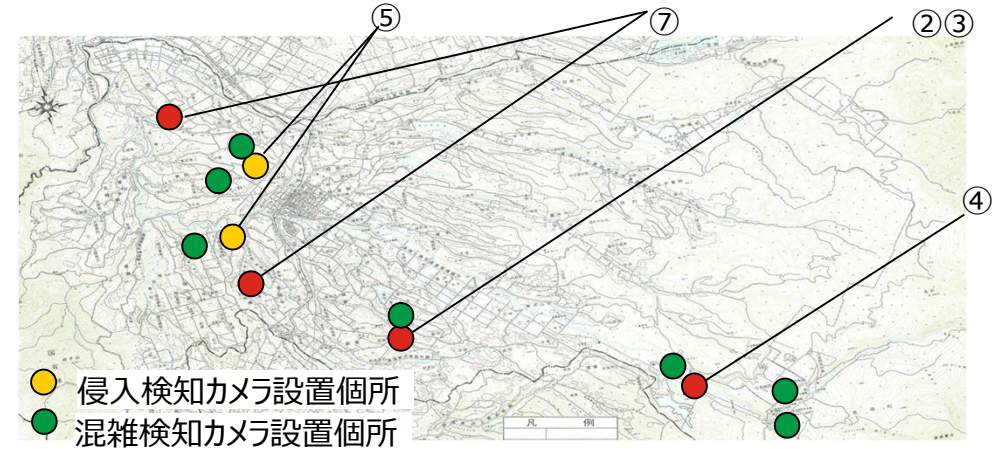
青い池駐車場
訪日外国人旅行者を中心に
特定の観光地に集中



青い池
訪日外国人旅行者を中心に
特定の観光地に集中

4. 対策の概要

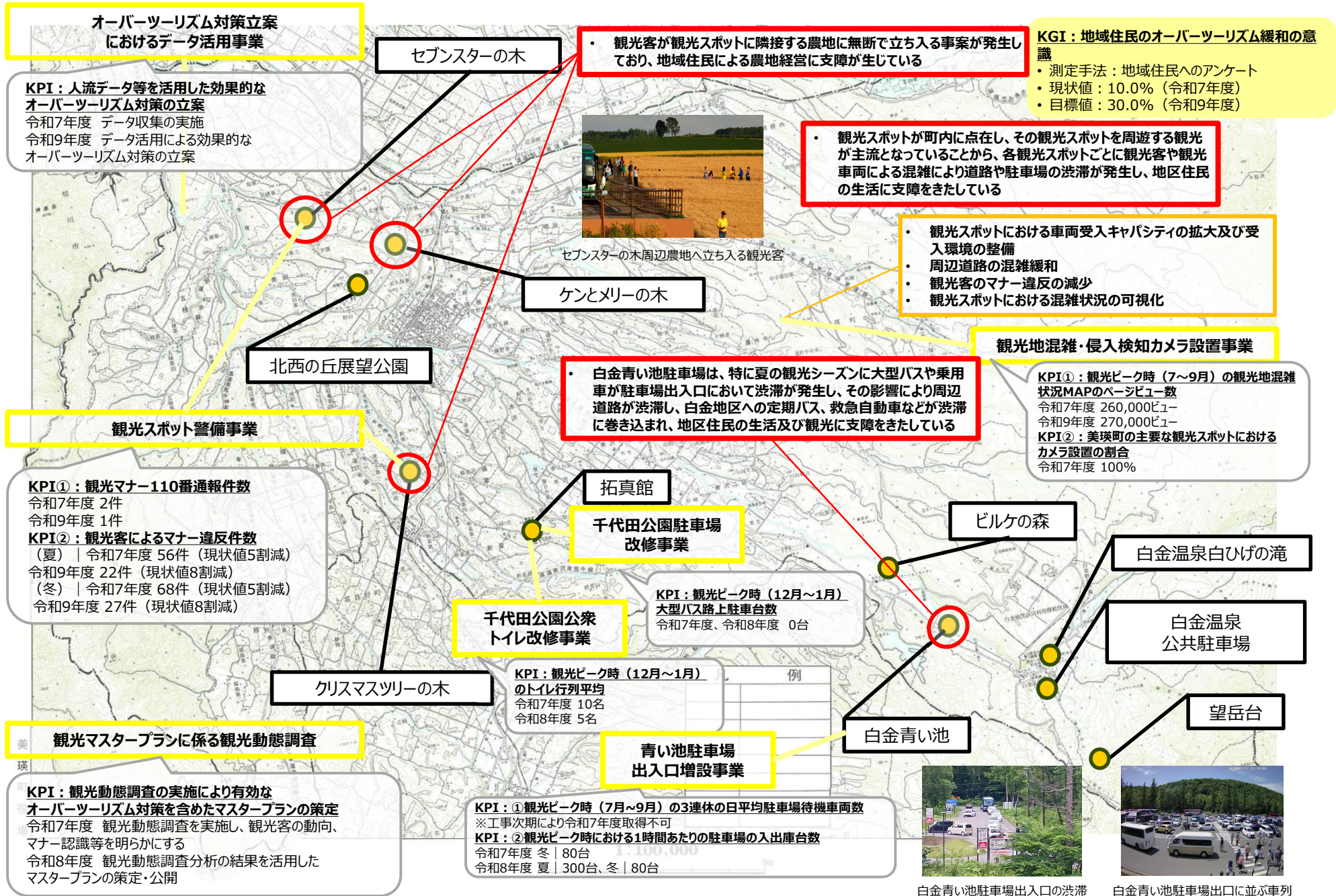
目指す姿	美瑛町の観光を観光客の「数」から観光の体験の「質」の追及へ、観光客まかせの巡り方から、地域がデザインした巡り方へ、そして「有名木」を見る観光から、「くらし」を体感する観光へ、住民のくらしと観光の融合による魅力あるまちづくりを目指す。
KGI	<p>(指標) 地域住民のオーバーツーリズム緩和の意識</p> <p>目標値：10%(令和7年度)、30%(令和9年度) 実績値：3.7%(令和7年度) (地域住民に対するオーバーツーリズム対策に係るアンケートより)</p>



■ 補助事業の実施概要

受入環境の整備・増強	
①	<p>観光マスタープランに係る観光動態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和9年度の観光マスタープラン策定に向けて、町の現状把握及びオーバーツーリズム対策等持続可能な観光地の実現に向けた有効な施策の検討に活用する観光動態調査を実施する 町内3箇所の調査地点で対面式により消費額、立ち寄り地点、観光マナー認識等の観光動態調査を実施し、有効なオーバーツーリズム対策を含めたマスタープランの基礎資料とする
受入環境の整備・増強 / マナー違反の防止・抑制	
②	<p>千代田公園駐車場改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 千代田公園駐車場は、人気の観光施設拓真館に隣接し、また、クリスマスツリーの木と同一観光ルート上にあることから時期的に観光客が集中し、駐車場が混雑することで、大型バスの路上駐車が発生している 千代田公園駐車場の駐車スペースを増設する (バス6台→12台、乗用車10台→14台)
③	<p>千代田公園公衆トイレ改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 千代田公園公衆トイレは、人気の観光施設拓真館に隣接し、また、クリスマスツリーの木と同じ観光ルート上にあることから時期的に観光客が集中し、特に訪日外国人旅行者に和式トイレが敬遠され、トイレの混雑が発生している 公衆トイレを改修し、和式トイレの洋式化改修 (男性用1、女性用1) 及び多目的トイレを新設 (男性用1、女性用1) し、トイレの混雑解消と利便性の解消を図る
④	<p>青い池駐車場出入口増設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 青い池駐車場は、観光ピークの夏期に観光客が集中することで駐車場の出入口が混雑し、それが原因で隣接する道路の渋滞が発生し、地域住民の生活に影響を及ぼしている 駐車場の出入口を増設 (普通車入口1か所、出口1か所を増設) し、青い池の交通渋滞の緩和を図る

需要の分散・平準化	
⑤	<p>観光地混雑・侵入検知カメラ設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の主な観光スポットで混雑や交通渋滞が発生しており、また、観光客が観光スポットに隣接する農地等に無断で侵入する事例が発生しているため、混雑、渋滞情報の発信による混雑、交通渋滞の緩和と観光客の農地等への無断立ち入りの防止が課題となっている 混雑検知カメラの増設：7か所 (北西の丘展望公園、ケンとメリーの木、新栄の丘展望公園、拓真館、白金温泉公共駐車場、白ひげの滝、青い池町道美望ヶ原ビルケ線) 侵入検知カメラの増設：2か所 (ケンとメリーの木、新栄の丘展望公園)
調査・分析	
⑥	<p>オーバーツーリズム対策立案におけるデータ活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> オーバーツーリズム対策の実施にあたり、現状ではデータに基づく分析による対策ができていないため、データに基づいた分析により、より効果的にオーバーツーリズム対策を講じる必要がある 人流データや公共交通利用等のデータを活用した分析を行い、観光地ごとの観光客の滞在時間、混雑時間帯などを踏まえ、観光客の流れを円滑にするオーバーツーリズム対策を立案する
需要の適切な管理	
⑦	<p>観光スポット警備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光スポットの中でも季節的に観光客が集中する特定の観光スポットでは、道路の渋滞や路上駐車、農地への立ち入りなどにより地域住民の営農活動や生活に大きな支障をきたしており、地域住民から改善を求める声が上がっている 観光スポットの中でも特に季節的に観光客が集中する特定の観光ポイントに絞る期間を限定し、警備員を配置し、地域住民の通行や農作業をスムーズに行えるようにする <p>【警備員の配置個所及び時期】セブンスターの木：7月～9月 クリスマスツリーの木：12月～2月</p>



5-①. 主な取組（詳細）

地域全体の観光地域づくりにかかわる事業

補助事業①	観光マスタープランに係る観光動態調査		
事業目的	2027年の観光マスタープランの策定に向けて、美瑛町の現状把握及びオーバーツーリズム対策等の持続可能な観光地の実現に向けた有効な施策の検討に活用する観光客の動態調査を実施する		
実施主体	美瑛町	実施期間	令和7年8月～令和8年2月
<p>【背景・課題】 2027年の観光マスタープランの策定にあたって、対面式による観光動態調査を実施することで、観光客から町内観光における動態を把握し、有効的なオーバーツーリズム対策を含めた持続可能な観光目的地を目指すマスタープランを策定する。</p> <p>【事業内容】 調査内容：対面調査 調査項目：国籍、性年代、町内における施設・サービス利用等に関する実態および満足度、再訪・推薦意向、消費額、美瑛町に対するイメージ、オーバーツーリズムに関する認識等 調査方法：紙の調査票を用いた対面聞き取り調査（調査票は日本語、英語、簡体字・繁体字、韓国語の4カ国5言語対応、調査員は日本語、英語、中国語、韓国語のマルチリンガル調査員 6名） 調査件数：国内187件、インバウンド252件 計439件 調査実施個所：白金青い池、美瑛選果、四季の情報館（観光案内所） 調査実施日：5日（令和8年1月23日（金）、1月24日（土）、1月25日（日）、1月31日（土）、2月1日（日）） 調査結果： 旅行満足度においては、インバウンドが国内旅行者より高い満足度を得ている。また、道内からの観光客の約32%、道外からの観光客の約39%がオーバーツーリズムは発生していないと回答したのに対し、インバウンドは72%がオーバーツーリズムは発生していないと回答した。 このことから、多くのインバウンド客は、地域の混雑や負荷を課題として認識しておらず満足度が高い傾向にあると言える。</p> <p>【推進ポイント】 美瑛町と包括連携協定を締結している北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院に委託した。（2020年のマスタープラン策定時に実施した動態調査も同様に対応しており、美瑛町の実情を深く理解している。） 観光客目線で町の現状把握を実施し有効な施策の検討に活用する。</p>			

5-①. 成果及び今後に向けて

補助事業①

観光マスタープランに係る観光動態調査

令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名

観光動態調査の実施により有効なオーバーツーリズム対策を含めたマスタープランの策定

令和7年度に掲げた目標値

- 目標値：観光動態調査を実施し、観光客の動向、マナー認識等を明らかにする（500件のサンプル確保）（1月～3月分）（事業年度内）

事業の成果/目標の検証結果

観光動態調査を実施し、観光客の動向、マナー認識等を明らかにする（439件のサンプル確保）（1月～3月分）（令和8年2月時点）

成果の詳細

- 令和9年度の観光マスタープランの策定に向けた対面による観光動態調査を実施し、次期観光マスタープランにおけるオーバーツーリズム対策等の基礎調査として活用を図る。

調査地点名	回答数	構成比 (%)
四季の情報館	247	56.30%
白金青い池	139	31.70%
美瑛選果	53	12.00%
合計	439	100.00%

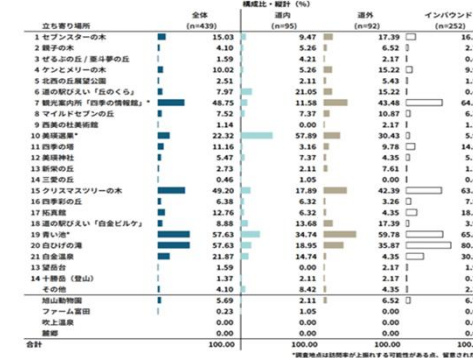
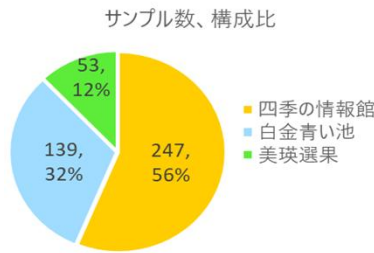


図1. 市内の立ち寄り先 (複数回答 / %)

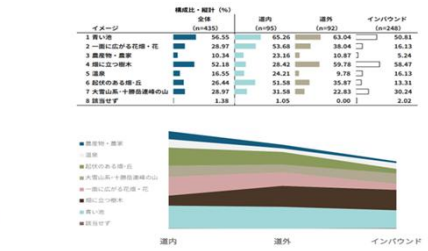


図5. 有機的イメージの構造 (複数回答 / %)



図7. クリスマスツリーの木に対する遊憩度認識 (単数回答 / %)

【改善点】

- 調査の実施により観光客の動態（訪問地、滞在時間、訪問ルート等）を把握するとともに、オーバーツーリズムの実感、観光消費額など有効な対策立案に結びつけるための調査が実施できた。

令和7年度事業を踏まえた継続課題

- 令和7年度は、1月～3月期の動態調査として実施したため、調査期間中の荒天による観光客の一時的な減少により目標のサンプル数（500サンプル）に届かなかった。

令和8年度以降の方針

観光マスタープランの策定

- 令和8年度は、観光動態調査の令和8年4月～12月分を3回に分けて実施することでサンプル数を担保するとともに、観光動態調査の結果を反映した観光マスタープランの策定に取り組む。

5-②. 主な取組（詳細）

需要の分散・平準化

補助事業⑤	観光地混雑・侵入検知カメラ設置事業		
事業目的	美瑛町エリアの観光スポット及び青い池周辺の町道に混雑検知カメラを設置し混雑状況や渋滞情報を発信することで観光スポットを訪れる観光客数の平準化を目指すとともに、侵入検知カメラを設置して観光客の農地等への無断侵入を防止する。		
実施主体	美瑛町	実施期間	令和7年9月～令和8年2月

【背景・課題】

- 令和5年度に混雑検知カメラを観光スポット4か所に設置し混雑状況を発信することで観光客の平準化を図るとともに、侵入検知カメラを観光スポット2か所に設置し農地等への無断侵入防止に努めてきた結果、Web上の観光地混雑状況MAPのページビュー数の増加による観光客の行動変容、農地等への無断侵入の減少等の効果が見られた。
- しかしながら、混雑状況を発信している観光スポットは4か所にとどまっており、観光スポットの選択肢が少ないこと、侵入検知カメラを設置している2か所以外にも頻繁に農地への無断侵入が見られる観光スポットが存在することが課題となっている。

【事業内容】

- 混雑検知カメラは、混雑状況を発信し、多くの町内観光スポットに設置することで観光客が混雑の状況を把握し、行動変容を促すことで観光地における観光客を平準化するため、新たに観光スポット7か所に設置する。
- 侵入検知カメラは、令和6年度の設置で農地への侵入が減少する大きな効果が認められたため、観光客の農地への侵入が多く、地域住民からも苦情が多い観光スポット2か所に設置することで、農地への無断侵入を防止する。
- 混雑検知カメラは主な観光ポイント及び混雑が発生している観光ポイントに、侵入検知カメラは観光客の農地侵入が頻繁に発生している観光ポイントとして以下にそれぞれ設置する

＜混雑検知カメラ設置（7か所）＞

北西の丘展望公園、ケンとメリーの木、新栄の丘展望公園、拓真館、白金温泉公共駐車場、しらひげの滝、青い池周辺町道美望ヶ原ビルケ線

＜侵入検知カメラ設置（2か所）＞

ケンとメリーの木、新栄の丘展望公園

【推進ポイント】

- 事業を円滑にかつ効率的に実施するため、増設カメラを既存システムに接続・設置する。



令和5年設置済
混雑検知カメラの画像
青い池（令和7年8月）



令和5年設置済
侵入検知カメラの画像
クリスマスツリーの木
（令和6年2月）

5-①. 成果及び今後に向けて

補助事業⑤

観光地混雑・侵入検知カメラ設置事業

令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名 美瑛町の主要な観光スポットにおけるカメラ設置の割合

令和7年度に掲げた目標値

- 混雑検知カメラ 必要個所12か所中設置12台100% (年度内)
- 侵入検知カメラ 必要個所5か所中設置 5台100% (年度内)

事業の成果/目標の検証結果

- 混雑検知カメラ 必要個所12か所中設置11台 91.7% (令和8年2月時点)
- 侵入検知カメラ 必要個所5か所中設置4台 80% (令和8年2月時点)

成果の詳細

- 混雑検知カメラの設置により、各観光スポットの混雑状況を町及び観光協会ホームページで確認し、観光地の混雑平準化に努めた。
- 観光スポットに設置しているサイネージにより混雑状況をお知らせするとともに観光マナーの改善につなげることができた。
- 侵入検知カメラの設置により、観光客の農地への侵入の防止効果があった。



しらひげの滝
混雑検知カメラ映像
(令和8年1月)



千代田公園
混雑検知カメラ映像
(令和8年1月)



混雑検知カメラ及び
侵入検知カメラ



ケンとメリーの木侵入
検知カメラ映像
(令和8年1月)



令和7年度事業を踏まえた継続課題

● セブンスターの木へのカメラ設置

- 観光地混雑・侵入検知カメラの設置については、令和7年度で設置必要個所の整備が完了する予定であった。しかし予定していたセブンスターの木への設置が景観上の理由で見送りとなった。

令和8年度以降の方針

● セブンスターの木へのカメラ設置

- 令和8年度でのセブンスターの木への設置に向け、条件整備をしたうえで、検討したい。

5-③. 主な取組（詳細）

調査・分析

補助事業⑥	オーバーツーリズム対策立案におけるデータ活用事業		
事業目的	町内における観光客の移動データを分析し、現状の課題の把握と移動需要が賄えていないエリアや時間帯を特定し、より効果的なオーバーツーリズム対策の立案を目指す。		
実施主体	美瑛町	実施期間	令和7年8月～令和8年2月

【背景・課題】

- オーバーツーリズム対策の実施にあたり、現状ではデータに基づく分析による対策ができていないため、データに基づいた分析により、より効果的にオーバーツーリズム対策を講じる必要がある。

【事業内容】

- 現状においては、町内における観光客の移動や滞在時間などの動向に関する詳細データがないことから、人流データや公共交通利用等のデータを使用し、美瑛エリアの来訪者の移動、属性、関心、滞在時間等の把握など詳細な分析を行い、現状のオーバーツーリズムの課題と移動需要、混雑時間帯等を把握し、より効果的なオーバーツーリズム対策の立案につなげる。

〈個別分析〉

- 人流データ、公共交通利用等のデータを活用
- 観光ポイント、観光施設、店舗等への立ち寄り、滞在時間の把握
- 観光客の流れ、訪問観光地点、観光地点ごとの滞在時間の把握

〈データを活用した改善施策検討〉

- 移動需要が賄えていないエリア、時間の特定による改善施策の立案
- 観光客の流れを円滑にするオーバーツーリズム対策の立案
- 観光客の観光ポイント、観光施設ごとの滞在時間、混雑時間帯を踏まえたオーバーツーリズム対策の立案

【推進ポイント】

- 人流データ、検索データ、公共交通関連オープンデータなど各種データを重ね合わせることで、公共交通需要の実態と町が認識している需要とのギャップを可視化し、それによりオーバーツーリズムによる交通への影響を緩和させるために必要な具体的な運行時間帯、車両サイズ、運行ルート、運行頻度などを明らかにするとともに、町内における観光客の来訪、滞在、周遊の実態を網羅的かつ多角的に把握し、より効果的なオーバーツーリズム対策の立案につなげる。



人流データ (例)



オーバーツーリズム対策アンケートの分析

5-③. 成果及び今後に向けて

補助事業⑥

オーバーツーリズム対策立案におけるデータ活用事業

令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名 人流データ等を活用した効果的なオーバーツーリズム対策の立案

令和7年度に掲げた目標値

- データ収集・分析 (年度内)

事業の成果/目標の検証結果

- データ収集・分析 (令和8年2月時点)

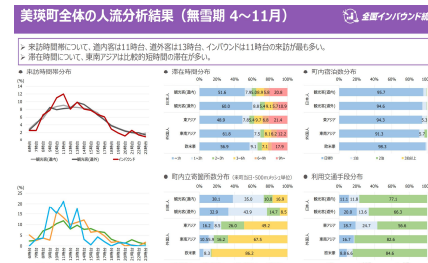
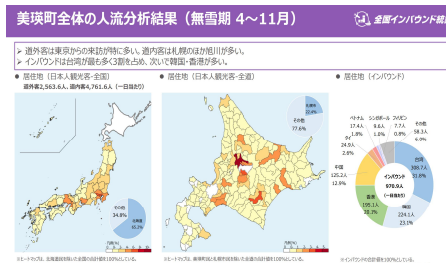
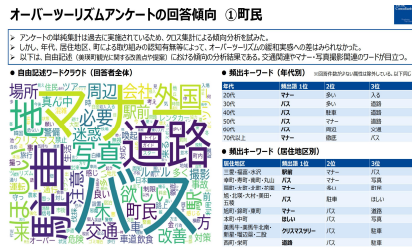
成果の詳細

- 町全体及び各観光ポイントごとの訪日外国人旅行者を含めた性年代別、無雪期・積雪期別の人流データの分析に加え、検索データ分析による来訪者、非来訪者別の検索語の解析によって、より詳細な統計データを取得でき、より効果的なオーバーツーリズム対策等が可能となった。
- 昨年実施した町民・観光客アンケートのクロス集計による深掘りにより、観光地における渋滞度と満足度の相関関係が明らかになるとともに町民アンケートでは、観光地周辺におけるオーバーツーリズムの実感に加え、市街地部分においてもマナー、交通ルールなどへの改善提案などの意見の分析ができた。
- 町の各種計画や町民・観光客へのオーバーツーリズムアンケート結果などを町と事業者が共有したことで、本町の状況を把握したデータ分析ができたことで、より有効なオーバーツーリズム対策に結び付ける提案立案がされた。

オーバーツーリズム対策の検討 (町内においての取り組みの検討)

項目	内容	検討状況
町民・観光客アンケート	町民・観光客アンケートの結果を基に、観光地周辺の渋滞度と満足度の相関関係を分析し、改善提案を提示する。	完了
人流データ分析	人流データ分析の結果を基に、観光地周辺の渋滞度と満足度の相関関係を分析し、改善提案を提示する。	完了
検索データ分析	検索データ分析の結果を基に、来訪者・非来訪者別の検索語を解析し、観光地周辺の渋滞度と満足度の相関関係を分析し、改善提案を提示する。	完了

オーバーツーリズム対策立案の内容



美瑛町全体の検索分析結果 (無雪期・居住地別)

居住地	検索語	割合
町内居住の非来訪者	観光	2.4%
	観光地	1.9%
	観光客	1.6%
	観光客の行動	1.4%
町外・高層階級からの来訪者	観光	2.4%
	観光地	1.9%
	観光客	1.6%
	観光客の行動	1.4%
町外・低層階級からの来訪者	観光	2.4%
	観光地	1.9%
	観光客	1.6%
	観光客の行動	1.4%

オーバーツーリズム対策アンケートの分析 美瑛町全体の人流分析結果 (1) 美瑛町全体の人流分析結果 (2) 美瑛町全体の検索分析結果

令和7年度事業を踏まえた継続課題

- オーバーツーリズムは町全体ではなく、特定の「場所・時期・時間」で発生していることが明らかになったが、これまでは特定の「場所・時期」に限定した取組に留まっていた。観光客が観光スポットの集中する「時間」も鑑みた打ち手の検討が肝要である。

令和8年度以降の方針

令和7年度のデータ分析結果の活用

- 令和7年度事業の人流データ等の分析により、本町にとってより効果的なオーバーツーリズム対策立案の提案された内容について検討する。
- その上で、予算への反映ができる令和9年度以降、より効果的なオーバーツーリズム対策に取り組みたい。

5-④. 主な取組（詳細）

需要の適切な管理

補助事業⑦	観光スポット警備事業		
事業目的	美瑛町エリアの特に混雑する観光スポットに警備員を配置、交通整理や観光客への注意喚起を実施し地域住民の車両通行及び観光客の安全確保を目指す		
実施主体	一般社団法人 美瑛町観光協会	実施期間	令和7年7月～令和8年2月
<p>【背景・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 美瑛町エリアには複数の観光スポットが点在しているが、観光客が特定の観光スポットに集中することで周辺道路が混雑するとともに、多くの観光客が道路上で写真撮影をすることにより、地域住民の通行や周辺農地における農作業に支障をきたしており、交通事故の発生も懸念される。 町内観光スポットの中でも特に混雑が顕著な観光スポットであるセブンスターの木、クリスマスツリーの木は、夏期と冬期に観光客が集中し、車両やバス、観光客の整理が必要な状況である。昨年（令和6年度）警備員を配置し効果が発揮されたため、観光客が集中する期間に限定し、警備員を配置することで、効果的に地域住民や観光客の安全確保を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光スポット警備員配置 観光スポットの中でも特に観光客で混雑する時期に警備員を配置し交通整理及び観光客への注意喚起を実施し、地域住民の通行や周辺農地における農作業をスムーズに行えるよう努める。また、地域住民及び観光客の安全確保に努める。 <p><警備員配置時期></p> <ul style="list-style-type: none"> セブンスターの木 7月～9月 クリスマスツリーの木 12月～2月 <p>【推進のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業を円滑にかつ効率的に実施するため、地域住民及び観光客の安全を確保できる人数を配置する。 			



セブンスターの木における
警備員誘導状況
(令和7年7月)

5-④. 成果及び今後に向けて

補助事業⑦	観光スポット警備事業
-------	------------

令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名	夏：セブンスターの木における観光アドバイザーが観光客にマナー違反を注意した件数 冬：クリスマスツリーの木における監視カメラが観光客のマナー違反を検知した件数	
令和7年度に掲げた目標値	事業の成果/目標の検証結果	
<ul style="list-style-type: none"> 警備員配置前（令和5年）に比べて5割減（年度内） 	<ul style="list-style-type: none"> セブンスターの木 警備員配置前（R5）113件 警備員配置後（R7）16件 ※85.8%減 	<ul style="list-style-type: none"> クリスマスツリーの木 R5.12月～R6.1月 137件 R7.12月～R8.1月 7件 ※94.9%減

成果の詳細

- 警備員の配置により、観光ピーク時における路上駐車が減少し、営農活動（麦刈り等）や地域住民の交通への影響が極力抑えられた。
- 警備員の配置により、観光ピーク時における道路横断時の交通安全の呼びかけ等により交通安全の向上が図れた。また、道路上で座り込んでの写真撮影が減少し、撮影マナーの改善が図られた。



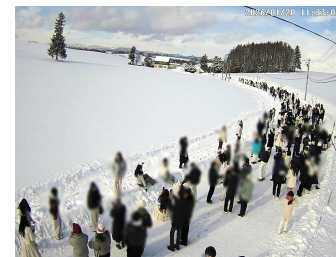
セブンスターの木における警備員誘導状況（令和7年7月）



セブンスターの木付近の道路中央で写真を撮る観光客（令和7年7月）



セブンスターの木における警備員配置状況（令和7年9月）



クリスマスツリーの木における観光客による道路混雑の状況（令和8年1月）



クリスマスツリーの木における警備員配置状況（令和8年1月）

令和7年度事業を踏まえた継続課題

クリスマスツリーの木における混雑

- クリスマスツリーの木における混雑状況については、令和7年度は訪日外国人旅行者が増加しており、改善には至っていない。

令和8年度以降の方針

警備員配置期間の短縮と取組の継続

- セブンスターの木における混雑状況については、前年度より改善がみられるため、令和8年度以降は警備員配置期間の短縮を検討したい。
- クリスマスツリーの木について、地域住民生活への影響を考慮し、令和8年度以降も継続した取組が必要である。

【オーバーツーリズム対策・観光マナー啓発実証事業】
美瑛の地域特性に合わせたピクトグラムによる農地侵入防止対策事業

1. 実施背景

▶ 観光集中に伴う駐車場および道路混雑の課題

夏の観光シーズンには、「白金の青い池」「セブンスターの木」などの観光地において駐車場が大型バスや乗用車で混雑し、この影響は周辺道路にも及び路線バスや緊急車両の運行、農業生産にも支障をきたしており、地域住民の生活の妨げとなっている。また、冬の観光シーズンには、「クリスマスツリーの木」に外国人観光客が集中し、幅の狭い町道が観光客で埋め尽くされている状況が続き、道路の混雑や大型バス等の車両の路上駐車により、周辺道路の通行が困難な状況にあり、地域住民の生活に支障をきたしている。

▶ 観光客による農地侵入と農業経営への影響

「セブンスターの木」「ケンとメリーの木」「クリスマスツリーの木」といった観光スポットは農地に隣接している。残念ながら、一部の観光客による農地への無断立ち入りが後を絶たない。これは、農作物の損傷や土壌汚染のリスクを高めるだけでなく、農家の方々の農業経営に直接的な支障をきたす深刻な問題となっている。



青い池駐車場出口の渋滞



青い池駐車場入口の渋滞



クリスマスツリーの木における観光客による道路混雑の状況

6. その他

【オーバーツーリズム対策・観光マナー啓発実証事業】 美瑛の地域特性に合わせたピクトグラムによる農地侵入防止対策事業

2. 実施概要

➤ マナー啓発看板の設置

観光による混雑が特に著しい観光地の「セブンスターの木」「クリスマスツリーの木」にピクトグラムのマナー啓発看板を設置した。

実証事業で
活用した
ピクトグラム



勝手にえさを
やらないで



私有地への
立入禁止



撮影の際は
周りに注意

「セブンスターの木」

事業開始時
令和7年11月



事業終了時
令和8年1月



「クリスマスツリーの木」

事業開始時
令和7年11月



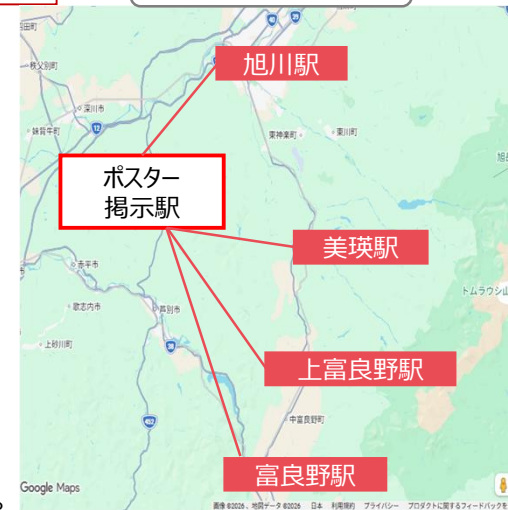
事業終了時
令和8年1月



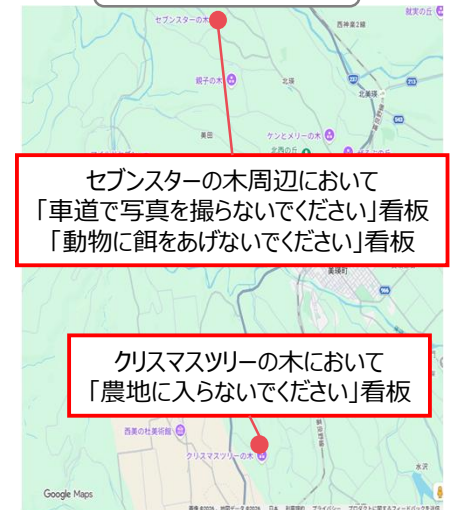
➤ JRにおける広報

- JR富良野駅の車両内に、観光ピクトグラムやマナーに関する車内広告を提示した。
- JR旭川駅、美瑛駅、上富良野駅、富良野駅の構内に、観光ピクトグラムやマナーに関するポスターを掲示した。

JR富良野線エリア



美瑛エリア



セブンスターの木周辺において
「車道で写真を撮らないでください」看板
「動物に餌をあげないでください」看板

クリスマスツリーの木において
「農地に入らないでください」看板

3. 実施結果

➤ 農地侵入件数と道路混雑の発生件数の減少

観光客による農地（クリスマスツリーの木）への立ち入り行為の発生件数は令和6年度比25%に抑制された。また、セブンスターの木周辺で車道で写真を撮る行為の発生件数も前年度比36%に抑制された。

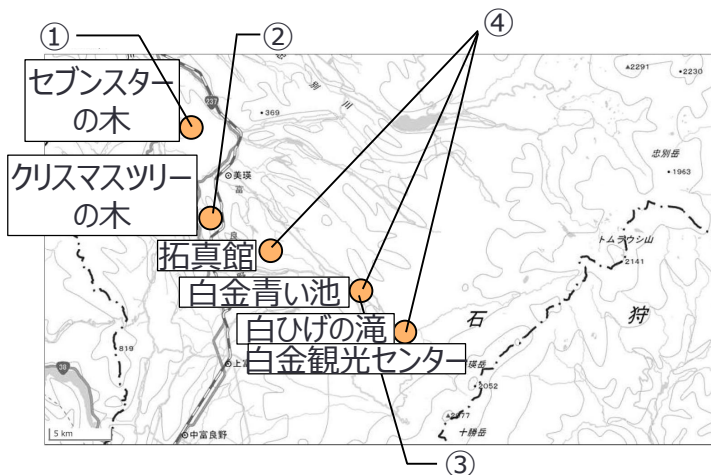
➤ ピクトグラムの視認性

以前の看板は文字情報が多く、読まないと内容が伝わりにくいという課題があったが、今回の実証で、イラストやピクトグラムを中心としたデザインは、特に外国人観光客にとって一目で意図が伝わりやすく、非常に効果的であると再確認した。

4. 対策の概要

- 地域住民・農家の生活エリアと観光エリアが重複しているため、観光客によるマナー違反行動や交通渋滞が、**住民の生活や交通に直接の影響**をもたらしている
- 地域住民からの要望**を受け、町を中心に「**美瑛町オーバーツーリズム対策協議会**」を発足
- 地域関係者や有識者との協議を踏まえ、**町内の交通渋滞緩和を目的としたハード整備やソフト面の取組み**（駐車場改修・トイレ増設・交通整理・混雑状況可視化カメラ増設のための調査）、また、**マナー啓発の取組み**（デジタルサイネージの設置）を行うことになった

美瑛町対策エリア



出典：地理院タイルに観光地名と図形を追記して掲載

受入環境の整備・増強

取組み 背景

①セブンスターの木駐車場の改修

- バスの駐車スペースが少なく、同一時間帯にバスが集中することで、6,7台のバスが路上駐車することなどにより、頻繁に道路が混雑。近隣農家の通行に支障をきたしている
- 駐車場を改修し、バス駐車可能台数を増やすことで、特に大型観光バスの集中による路上駐車や交通渋滞の抑制、周辺エリアの混雑緩和を目指す

取組み 背景

②クリスマスツリーの木周辺への警備員配置

- 周辺道路はもともと生活道路であり非常に狭く、車両間の行き違いが難しい。加えて、特定の時期・時間帯に観光客の車両が集中することで道路の混雑が発生。近隣農家の作業や地域住民の通行に支障をきたしている
- 冬季の繁忙期において、クリスマスツリーの木周辺に警備員を配置し、交通整理を実施することで、周辺道路の混雑解消を目指す

内容

取組み 背景

③白金青い池のトイレ増設（増設工事中は仮トイレを設置）

- 来訪観光客数に対し極端にトイレの数が少なく、ピーク時には100人ほどの行列が発生。駐車場の車両滞留時間が長くなり満車状態が続くため、周辺道路に入場待ちの車両が列をなし、交通渋滞が生じている

内容

- トイレ待ちの滞留解消による駐車場の回転率向上と周辺の交通渋滞緩和を目指す

マナー啓発

取組み

④美瑛町における観光マナーを表示するデジタルサイネージを観光拠点3か所（拓真館、青い池、白金観光センター）に増設

背景

- 観光マナーが十分に浸透しておらず、農地に無断立ち入りをしたり、道路の真ん中で写真撮影をする観光客が増加している

内容

- デジタルサイネージを増設し、観光客のマナー行動遵守を促進

調査・分析

取組み

⑤混雑状況可視化カメラ増設検討のための調査

背景

- 特定のスポットに観光客が集中する一方で、町内に点在する他観光スポットは混雑していない状況。観光客をこうしたエリアに誘導する情報発信を目的とし、増設が必要

内容

- 混雑状況を可視化できるカメラの適切な設置場所を特定するための調査を実施する

5-①. 主な取組み（詳細）

課題

- 白金青い池のトイレ不足により、駐車場における車両の滞留時間が長くなり周辺道路に交通渋滞が生じている

取組み

白金青い池のトイレ増設

実施期間：令和6年7月～令和7年2月
実施主体：北海道美瑛町

事業内容

■ トイレ増設

- 白金青い池の来訪者向けトイレを増設する

【背景】

- 白金青い池のトイレは来訪観光客数に対し極端に数が少なく、ピーク時には100人ほどの行列が発生。駐車場における車両の滞留時間が長くなり満車状態が続くため、周辺道路に入場待ちの車両が列をなし、交通渋滞が生じている

【目的】

- トイレを増設することで、観光客数に合った受入環境を整え、滞留解消による駐車場の回転率向上と周辺の交通渋滞緩和を目指す
なお、増設工事中は仮設トイレを設置
- 既存トイレ：男性個室小3大1、多目的1、女性3
- 新設トイレ：男性個室小3大1、多目的1、女性8

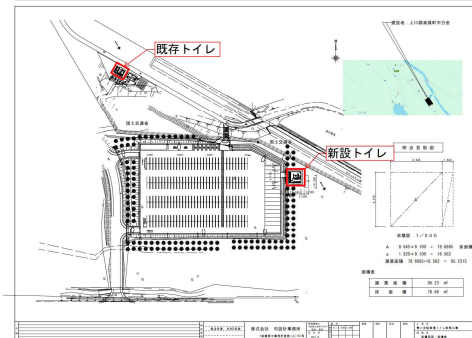
【その他取組み】

- 北海道の協力のもと、従来の青い池駐車場入り口から約1km手前の道道に青い池への左折看板を設置し、青い池に向かう車両を町道へ誘導。その結果ほとんどの車両が左折し道道の渋滞は大幅に解消した（令和6年7月）
- 上記のとおり誘導しても従来の青い池駐車場入り口から左折し強引に右折入庫する車両がいたため、駐車場入口付近の町道のセンターラインに車線分離標を設置（観光ピーク時のみ）し右折入庫不可とした。その結果右折入庫待ち車両による道道の渋滞がほぼ解消した（令和6年8月）

整備前：トイレ待ちの列と、周辺道路における駐車場待ちの交通渋滞



整備後：新設したトイレ



青い池周辺の道路状況



5-①. 成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

A：トイレ待ち滞留の解消

B：トイレ待ちの滞留解消が周辺交通渋滞の軽減に寄与するか特定

事業の成果／目標の検証結果

A：トイレ滞留は解消

- ▶ トイレ待ち平均人数：**80人から10人以下**に減少

B：他の対策(車両誘導方法の変更)も併せて実施したことにより、周辺交通渋滞は緩和。

- ▶ 青い池周辺の道路のバス平均遅延時間
12分(最大遅延時間54分)から5分(同19分)に減少

令和6年度の取組みから見えてきた課題

- トイレ待ちの滞留解消により、新たなボトルネック（駐車場入出庫時の渋滞）も表出

1 駐車場入出庫をスムーズにする施策の検討

- トイレの滞留が解消され駐車場内の回転率が向上したことにより、入口における駐車券受け取り、出口における精算に時間を要する車両が多いことが判明した
- そのため、駐車場内で出庫待ち渋滞と町道で入庫待ちの渋滞が発生
- 入出庫をスムーズにする新たな施策の検討が必要

2 対策を上回る観光客の増加

- トイレの混雑は減ったものの、観光客（特に訪日外国人旅行者）が急増していることから、駐車場に来た後の対策だけでは、周辺渋滞対策として不足することが分かった

令和7年以降に取り組むべきと考えること

- 青い池やその駐車場に来た後だけでなく、来る前の対策を講じていく

1 出入口の増設

- 普通自動車入口と出口各1ヶ所ずつ増設することを検討
- 出入スムーズ化に向けた既存の取組：事前精算機の導入（出る前に清算可）、入出時のチケット受け取りの場所に、スタッフの配置

2a 周辺道路 渋滞情報の発信

- 既に発信している青い池駐車場・ビューポイントだけでなく、青い池周辺の道路の渋滞情報も併せて、デジタルサイネージや町ウェブサイトで発信することを検討

2b 非混雑エリアへの誘客

- 観光客の車両移動情報を分析し、観光地間をつなぐ2次交通の改善策や、青い池以外の非混雑エリアへの誘導動線を検討
- 2aの渋滞情報の発信と併せて、青い池に集中する観光客を分散させ、青い池並びに周辺道路の混雑緩和を目指す

5-②. 主な取組み（詳細）

課題

- 大型観光バスの路上駐車が引き起こす道路混雑により、近隣農家の作業に支障をきたしている

取組み

セブンスターの木駐車場改修（バス駐車可能台数増）

- 実施期間：令和6年8月～11月
- 実施主体：北海道美瑛町

事業内容

■ 駐車場改修

- 駐車場を改修し、大型バススペースを4台から10台に増やす

【背景】

- セブンスターの木は、大型観光バスの駐車スペースが少なく、同一時間帯にバスが集中することで、駐車場に入りきれないバスが発生。そのため、バスが6～7台周辺道路に路上駐車することで、頻繁に道路が混雑し、近隣農家への作業に支障をきたしている（農業機械が通れなくなる等）

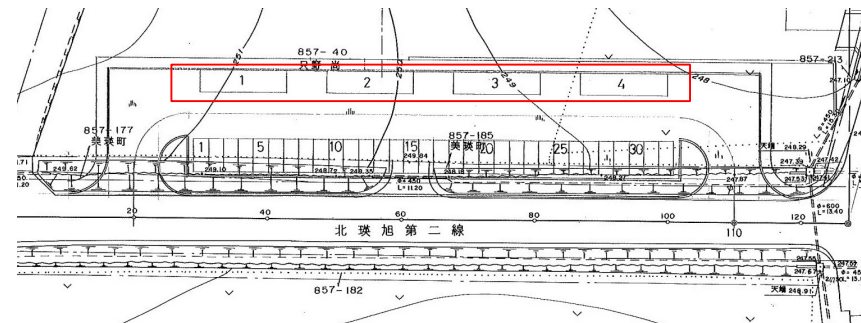
【目的】

- 駐車場を改修することで、限られたスペース内でバス駐車可能台数を増やし、観光大型バス集中による周辺道路の路上駐車や混雑の緩和を目指す

【その他取組み】

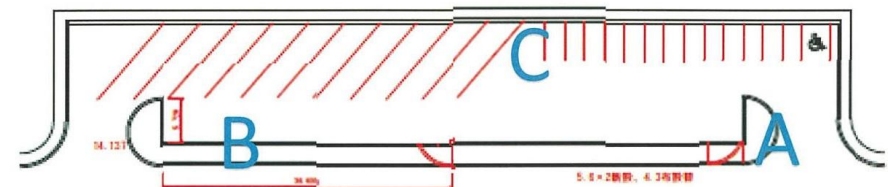
- 北海道警察と連携し、セブンスターの木周辺の町道を駐車禁止にする規制を実施。その結果、警察による定期巡回も実施され路上駐車はほぼなくなった（令和6年7～8月）
- 農繁期（6～8月）に観光協会において、セブンスターの木周辺道路に警備員を2名配置。その結果、交通整理により地域住民及び周辺農家の車両が安全に通行できた（令和6年6～8月）

実施前：大型バス4台駐車スペース（縦列）



◀ 大型バスの縦列駐車

実施後：大型バス10台駐車スペース（斜め駐車線の線を作る）



A	舗装版撤去、路盤材転圧	2日	施工順番 2
B	舗装版撤去、路盤材転圧	3日	施工順番 1
C	路面標示	2日	施工順番 4
A+B	舗装敷設	2日	施工順番 3

5-②. 成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

- A : 大型観光バスの路上駐車を解消する
- B : 近隣農家の生活環境を保全する

令和6年度取り組みから見えてきた課題

- 大型観光バス車両については規制の効果もあり改善がみられたが、観光客によるマナー違反行為は続いており、観光客を対象とした取り組みが必要

1

観光客の農地立ち入りへの対応

- セブンスターの木は農地に囲まれており、バスから降りた観光客が農地に立ち入ってしまう事象が引き続き起こった
- 車両だけでなく観光客を対象とした対策が必要

2

路上での写真撮影による滞留への対応

- 観光客が道路の真ん中で写真撮影を行い、約100人規模で滞留
- 周辺農家にとって生活道路であり、滞留が通行の妨げとなる。クラクションを鳴らしても無視され、対処が困難
- 道路での滞留がマナー違反であることの周知と、滞留解消のための具体的施策が必要

事業の成果／目標の検証結果

- A : 大型観光バスの路上駐車は解消
大型観光バスの路上駐車台数：6台から0台に減少
- B : 近隣農家の生活環境保全是、課題が残った
バスの路上駐車は無くなったが、バスから下車した観光客のマナー違反は依然として発生している

令和7年以降に取り組むべきと考えること

- マナー違反に対して、周知や啓発にとどまらず、現場でのアラート発信や違反行為を禁止事項として規則化するなど、直接的かつ強力な対策を検討していく

1

侵入検知カメラの設置

- 現在青い池・クリスマスツリーの木にあるカメラをセブンスターの木付近にも設置
- 人が侵入したときに、音声4か国語（英・中・韓）で警告音声を流し、その場でのマナー違反行動に直接アプローチ

2

路上での撮影を禁止にする規制の導入

- 現行のデジタルサイネージ等でのマナー周知では不足
- 美瑛は再訪する外国人観光客が少なく、ルールを知らないことによる違反ではなく、個人のモラルによるものが多い可能性
- 路上での撮影行為を禁止するなど、より強力な手段を検討

現状について

- 令和7年度は、地域一体型として事業を実施。